

地域とともに

～「熟議」を通して～

【防府市 桑山中学校区】

地域の概要

桑山中学校区は、防府市の中心部にある桑山の西側に位置しており、農村地域、新興住宅地域が混在し、活動的で人の交流も盛んな地域です。通学区は、華浦小学校区全域、華城小学校区の過半、新田小学校区・佐波小学校区の一部で、それぞれ地域により特色をもっています。桑山中学校は防府市内では生徒数が最も多い中学校です。

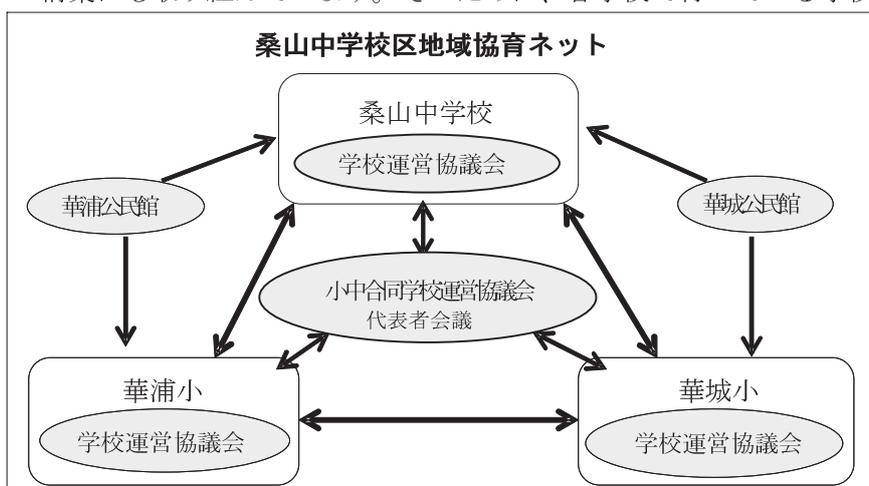
人口	23,877 人	
世帯数	10,935 世帯	
対象校及び 児童生徒数	桑山中学校	647 人
	華浦小学校	497 人
	華城小学校	816 人
	新田小学校	486 人
	佐波小学校	472 人

組織の内容

桑山中学校は平成 23 年度に学校運営協議会を立ち上げ、コミュニティ・スクールをスタートしました。そして、防府市では、平成 24 年度に全小・中学校にコミュニティ・スクール制度が導入され、桑山中学校区内の各小学校でも学校運営協議会が設置され、各委員からの意見を集約し、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいるところです。桑山中学校区では、桑山中学校、華浦小学校、華城小学校の学校運営協議会を推進母体として、各公民館や地域コミュニティ、ボランティアグループなどと連携した「地域協育ネット」の構築にも取り組んでいます。そのために、各学校で行っている学校

運営協議会を学期に 1 回程度 3 校合同で行い、各学校の活動の紹介や合同で取り組めることなどを検討しています。

今後も学校運営協議会を中心に 3 校の連携をより強くして、地域ぐるみで子どもたちを支援していく環境づくりを進めていきたいと思っています。



特色・重点的な取組

学校と地域コミュニティとの連携が盛んであり、地域コミュニティと生徒会と一緒にボランティア活動を企画し、地域の方と河川の清掃に取り組んだり、夏休みに地域コミュニティ主催で行われる小学生対象の工作教室や科学教室に、中学校の美術部や科学部の部員が指導者として参加したりしています。

また、公民館で行われる地域の文化祭を中学生がボランティアで手伝ったり、吹奏楽部が演奏披露したり、美術部や科学部が作品の展示や実演を行ったりしています。更に、子どもたちが地域に出て行くだけでなく、地域の方にも学校に来ていただく取組も行っています。地域の方に月 2 回程度、朝読書の時間に読み聞かせを行っていただいています。地域の食生活改善推進員の方に調理実習のサポートを行っていただいたり、公民館で琴の講座を開かれている方に新年の祝賀演奏をしていただいたりしています。

今年度は、中学校の全教職員と学校運営協議会委員、PTA 企画委員、学校ボランティアと一緒に「桑山中学校区の子どもたちの豊かな学びと育ちをめざして」をテーマに「熟議」を行いました。色々なアイデアが出て大変充実した時間となり、地域と学校の距離を縮める場になったと思います。

主な活動の紹介

○地域から学校への支援（地域の方の活動）

昨年度1年生で始めた朝読書でのボランティアによる読み聞かせを、今年度は1・2年生に拡大しました。また、地域の公民館で琴の講座を開かれている方に、祝賀演奏を3学期の始業式で行っていただいたり、家庭科の調理実習に地域の食生活改善推進員の方にゲストティーチャーとして参加していただいたりしました。



読み聞かせ



祝賀演奏



調理実習

○学校から地域への支援（地域コミュニティとの連携）

夏休みに地域の健全育成協議会と生徒会が合同で佐波川の清掃を企画し、小学生や地域の方にも呼びかけて一緒に奉仕活動を行ったり、公民館が主催する図画工作教室や科学工作教室に中学校の美術部員・科学部員が指導者として参加したりしています。また、秋には地域の文化祭を中学生のボランティアが手伝ったり、吹奏楽部が演奏を披露したり、美術部や科学部が作品の展示や発表を行ったりもしています。



佐波川清掃企画会議



文化祭の手伝い



文化祭での科学部発表

○学校・家庭・地域の「連動・協働」に向けての「熟議」

教職員と学校運営協議会委員、PTA企画委員、学校ボランティアの計54名が10班に分かれて「熟議」を行いました。「桑山中学校区の子どもたちの学び」にとって大切だと思うことを話し合い、それを達成するために、学校・家庭・地域が連携・協働できそうな取組を考えました。そして、出てきたアイデアを一つに絞り実効性のあるものにするため、更に具体的な内容を考えて、「○○プラン」としてまとめ、班ごとに発表し合いました。



全教職員と地域の方で「熟議」

成果と課題

地域コミュニティと連携した活動や地域の教育力を生かした取組は年々充実し、地域の方と子どもたちのかかわりが深くなったように思います。これを更に進めていくためには、学校運営協議会を中心に地域との連携を図り、ネットワークを広げていく必要があります。今年度はこの課題の解決に向けて、学校運営協議会委員を中心とした地域、保護者、全教職員で「熟議」を行いました。大変充実した会になり、学校・家庭・地域が連携・協働できそうなアイデアが多く出ました。今後は、協議会で出たアイデアを実効性のあるものにして、新たな活動に結び付けていきたいと思っています。今回の「熟議」を通して、教職員の参画意識が高くなるとともに、地域と学校の距離も縮まったように思います。

今後の取組

今年度行ったような「熟議」を学期に1回程度行い、学校・家庭・地域が連携・協働して学校課題に取り組む体制を築きたいと思っています。さらに、3校合同での「熟議」も行い、中学校区全体で子どもたちの育ちを見守っていく仕組みづくりにも取り組んでいきたいと思っています。充実した取組にするためにも、地域の方に、日常的に学校行事や授業参観に参加していただくとともに、子どもたちが地域行事に参加し、更に連携を深めていきたいと思っています。